

週休2日設定工事の経費の補正について

週休2日による工事の発注を推進するため、必要な経費を計上する。

現場の閉所状況と、閉所状況ごとの各経費補正率、市場単価補正係数、計上方法は以下のとおりとする。

- 1 週休2日を実施する工事については、要領上、対象期間における現場の閉所状況に応じた補正係数を各経費に乗じるものとする。

<現場の閉所状況>

月単位及び通期の4週8休の現場の閉所状況を達成した場合

月単位の4週8休以上とは、対象期間内の全ての月毎の現場閉所日数（降雨、降雪等による予定外の現場閉所日を含む。）の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では28.5%に満たない月はその月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、4週8休（28.5%）以上を達成しているものとみなす。

通期の4週8休以上とは、対象期間内の現場閉所率が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。

<補正係数>

| 補正対象経費 | 現場の閉所状況 | |
|--------|-----------------|---------------|
| | 月単位 4週8休を満たす | 月単位 4週8休未済 |
| 労務費 | 1.02 | 補正なし（減額） |
| 共通仮設費率 | 1.01 | 補正なし（減額） |
| 現場管理費率 | 1.02 | 補正なし（減額） |

※月単位の4週8休以上の水準に達した場合、月単位の4週8休と同様の補正係数とする。

<市場単価等 補正係数>

下記補正係数一覧による。

2 補正方法

受注者希望方式

当初予定価格から月単位における4週8休以上を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況を確認後、通期の4週8休または月単位の4週8休に満たないものについては、補正係数を減ずる。

<市場単価補正係数一覧>

(補正式) 週休2日補正後の市場単価 = 市場単価 × 週休2日の補正係数

| 名 称 | 区分 | 補正係数 |
|--------------------------|-------|------|
| | | 月単位 |
| 鉄筋工 | | 1.02 |
| ガス圧接工 | | 1.01 |
| インターロッキングブロック工 | 設置 | 1.01 |
| | 撤去 | 1.02 |
| 防護柵設置工 (ガードレール) | 設置 | 1.00 |
| | 撤去 | 1.02 |
| 防護柵設置工 (ガードパイプ) | 設置 | 1.00 |
| | 撤去 | 1.02 |
| 防護柵設置工 (横断・転落防止柵) | 設置 | 1.02 |
| | 撤去 | 1.02 |
| 防護柵設置工 (落石防護柵) | | 1.01 |
| 防護柵設置工 (落石防止網) | | 1.01 |
| 道路標識設置工 | 設置 | 1.00 |
| | 撤去・移設 | 1.01 |
| 道路付属物設置工 | 設置 | 1.01 |
| | 撤去 | 1.02 |
| 法面工 | | 1.01 |
| 吹付砕工 | | 1.01 |
| 鉄筋挿入工 (ロックボルト工) | | 1.01 |
| 道路植栽工 | | 1.02 |
| 公園植栽工 | | 1.02 |
| 橋梁用伸縮継手装置設置工 | | 1.01 |
| 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工 | | 1.02 |
| 橋面防水工 | | 1.01 |
| 薄層カラー舗装工 | | 1.00 |
| グルーピング工 | | 1.00 |
| 軟弱地盤処理工 | | 1.01 |
| コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工) | | 1.01 |